日刊 [illegible]10月6日 「除月曜」 第三種郵便物認可　建設省特別扱承認第684号　磐城日日　昭和28年（1953年）10月9日（金曜日）　第950号

磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町港通51
電話代表387番
編集兼発行人 長瀬壽一

反對意見が壓倒的

古張縣教育委員長ら出席 小名高で學區制懇談会

高等学校の學區制に關する懇談会小名濱会場は七日午後一時半古張縣教育委員長以下全教育委員、六本杉同事務局秘書室長佐藤主事ら小名浜高校に到着、小名浜、江名、豊間、鹿島、泉、渡邊の四町二村の學校關係者、PTA、有識者約六十余氏が出席して開かれ、小名浜町長瀬助役を司会に縣教委事務局の方針説明から懇談に移り參會者の質問に教委の應答など活発な意見の交換があつて午後四時閉会、縣教委一行は宿舎の湯本町に向つた

高等學校の學区制は教育委員会法に基いて福島縣下は石城郡を除いて他の全部の學校に實施されているが、石城郡はその特種制に鑑み實施が遅延していたものであり、縣教委当局としては昭和二十九年度より実施を計畫していた問題である

結局現狀維持か

諸施設完備が先決だ 多数の聲に行き悩む

六日行われた四倉、勿来七日午前に開催された[illegible]田磐農高に於ける同懇談会に於ても大多數の意見は学区制実施反対の意向を明らかにしたが、小名浜高に於ける同懇談会も他と同様、小名高PTA会長、教育副委員長佐藤貞吾氏、小名高同窓会長小名浜商工会長草野庄平氏を代表する一部を除いて実狀のまゝ學区制を実施する事には反対する意見が大部分であつた

學区制実施に反對する大部分の意見は

▽實狀のまゝで学區制を実施されゝば學校の設備、内容共に差が甚しいために子供に充分な勉強をさせる事が出来ない

▽それが上級學校の入學に支障となる

▽現在の定員では高校入学が困難になる

などである

要約すれば學區制を實施するならば各学校の設備内容を磐高なみに充實させて後にすべきであるとする意見が壓倒的であつた

縣教委としては来年度より實施する意向であつたが大多数の反對の聲に実施は延期される模様である

冷害対策を促進

町村長会も積極協力

縣町村長会（会長横山宗延氏）は冷害対策緊急町村長大会を十二日福島市福島大學經済學部講堂に開催、宣言、実行方法などを協議する事になつた

本縣供米割当折衝は八日から大竹知事、[illegible]井經済部長らが上京して食糧廳で開かれているが、冷害の樣相が刻一刻深刻の度を深かめて判明されている今日、その對策として救農土木事業、農資金融供米、税金の減免など各郡冷害對策委員会縣冷害對策本部の運動と相俟つて町村長会の强力積極的活動が期待されている

美顔上パーマは
本田美容室
小名浜町

磐炭労賃金委員会

磐炭労では七日賃金委員会を開き暫定賃金について東部鑛連から「各山元別の交渉」という回答を不滿として統一交渉を行うよう再申入れ、ストによる減炭の賃金歩引きの問題に抗議を申入れた

天氣豫報 9

（本日）東寄りの風始め曇り時々小雨も降るが後晴れ間も出ます（海上）多少風波が出ましよう

魚菜市況 8

（小名浜中央青果市場）

卵一四〜一五玉ねぎ四〇〜七七丸大根四〇〜六〇なす一二〇〜一五〇里いも四〇〜五九胡瓜六〇〜一七〇ねぎ七五〜一二〇大根四〇〜六五人参五〇〜八〇馬鈴薯六五〜七五玉菜七九〜一二〇なた豆七〇〜一〇〇白菜四五〜八四牛蒡八〇〜八一廿藷二七〜五五

斬捨て御免 ③

鹿島問題から学ぶもの

＝政治家の無能と封建性＝

酔狂童子

吾輩は町議会の秘密主義については前にも論難したが、彼等は實に良く秘密会と稱する會合を持つ事が御好きである

何故かゝる擧を好むのか？何故秘密会を開かねばならぬのか？

他の問題にしても同樣であるが、吾々選挙民は議員諸侯に決定權のみを委任したのではない。諸侯の良識を信じ（少くとも表面上は）諸問題の審議と決定する權限の代行を委任したのである

「議員の存在は、議員個人の存在に非ず、何千何万の選挙民、國民の代辯者として存在しているのである」と云う事は、單に政府に、理事者に議会の輕視を痛責する時のみの言ではない

議員が國民の權利の代行者であるならばその發言は当然國民に責任を持ち審議内容は審らかに國民の前に公開されねばならない

水野と云い矢吹と云い選擧公約の一つと掲げたガラス張りの政治とはこの様な政治を云うのである

議員諸侯にしてもまた等しく異句同音、公明政治を叫んだ筈である

しかも問題は湯本、小名浜、鹿島五万四千町村民が直接自己の生活に直結する問題として等しく全神經を議会の政治に傾注していた筈である

にも關らず國民の町民の代表と公言する彼ら議員は町民の最も關心を寄せることの鹿島問題の最後の斷を下だすに當り、町民をしめ出して秘密会を開いたとあつてはとの行爲は絶對に民主社會民主政治の風上におけぬ言語同断なる不逞の醜と罵らざるを得まい

秘密会を開いた理由たるや「相手の町（湯本は小名浜を、小名浜は湯本を）刺激したくない」と云う事それ一つである

公開の席で論議を重ねる事が何故に相手を刺激する事なのか、また相手を刺激すればどうなのか實に馬鹿々々しい限りである

彼等の政治とは正義と信じた事を實行し實現して國民の町民の福利を増大する事にあるのではなくして、そんな事は二の次に事なかれ、顧客丸るく己れの立場が危くなければ何でもよい、安穏に〳〵只それだけである

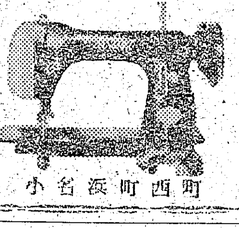
勿論利害が對立する場合妥協は必要である、しかし馳れ合いのお芝居政治は絶対に排すべきであり妥協はあく迄も論議の上の納得の上行ふ事が民主政治の妥協と云うものである

その論議を恐れ、一部の馳れ合いを町民の陰にかくれて決定し、町民にとう決定したからとうせよでは全然マルッキリ、「知らしむべからず頼らしむべし」の德川幕府に歴史は三百年の逆轉を余儀なくされると論詰されても町民に一言半句の辯解も出來まい

逆コースも甚だしいファッショ化獨裁化と論糺す價値は充分であり、全町民は等しく彼ら政治家の今後の動行に監視の眼を開き、眞の民主政治家であるか否かを判定しなければなるまい（完）

外務社員 急募
御希望の方は履歴書御持参のこと
年令・学歴を不問、要保證人
投資に有利―
金融は低利融通―
小名浜町愛宕下 若葉館前
日本投資金融株式會社
電話三四五番

[illegible] 長生堂薬局 小名浜[illegible]



バンコク ミシン
月払2,000円ヨリ
御相談に應じます
大和田
チケット御利用下さい
ミシン商会
小名浜町西町

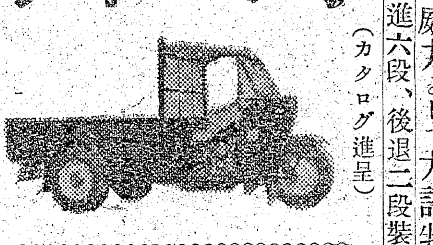
品質本位、新柄の店
樋口呉服店
小名浜町 電一〇四

7日ヨリ10日迄
上映中
乳房に秘めた復讐の刃!! 御存じ鉄火奉行が裁く剣と戀の嵐童子詮議
素浪人奉行
ジャズだギャングだスリルだキッス 總天然色で描く大喜活劇
ヤム・ヤム
ヒット・パレード
金美館

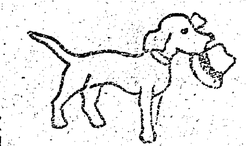
やまよし
京呉服
綿織物
洋服地
山吉商店
平市四丁目 TEL 268

緑
味を誇る
小名浜町 電29
緑屋醤油醸造場
志賀要平

小泉屋 No.4 ニュース
オーム社発行の
電氣工学書類
二百余種陳列
29年 専門日記発賣
鉄道時報局発行
土木 建築 電氣 化学
機械 鉄道 保線 其他
定價130
小名濱町本町 電話122番



＝三輪車界の王座＝
ダイハツ号
拾万台突破
新しい威力として大評判の
前進六段、後退二段装置式
（カタログ進呈）
代理店
小名浜町
宮下商會
モーター部
電話（一四五九番 一九八番）
ダイハツ中古車在庫豊富



チケット歓迎
皆様の店
平マーケット
小名浜第二小学校前 電三二七
お買物には先づ平マーケットを思い出して下さい私共は常に貴方の御相談相手として待機しています
スポーツシーズン
野球用ユニホームグロブ
男女学童用運動着運動靴
旅行セットボストン手提
レインコート雨靴、洋傘
男女子供服と婦セーター
毛糸カネボー群羊各色備
カネボー一封度2000円
ブラウス学生服セーラ服
秋物服地と夜具地 入荷
夜具の手入……フトン綿
化粧品柳屋メヌマ ジュジュパピリオ }80円
菓子切手葉書印紙たばこ
ちどりフトン綿、夜具地
經費をかけずに良い品安く

第三種郵便物認可　[illegible]一ヵ月前[illegible]　一部金3円(月曜休刊)　磐　城　日　日　昭和28年（1953年）10月9日 金曜日　第949號

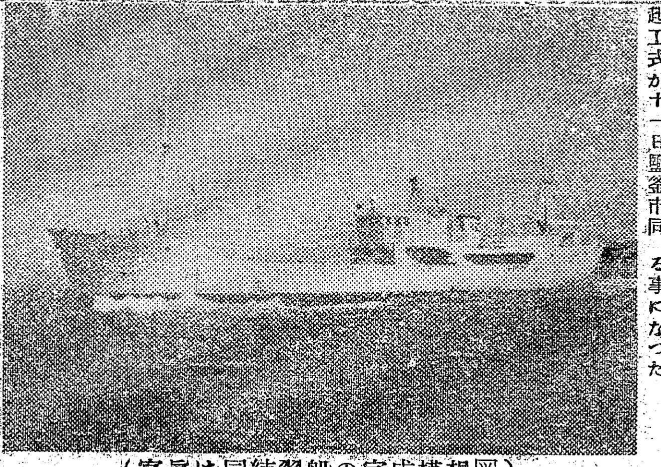
不屈なバックボーンは既に大洋呑んで

龍骨も健児を象徴

水産高校の實習船起工式

〝既報〟県立小名浜水産高校（校長安達新氏）の宿望練習船建造は去る九月二日の入札に於て工費六千万で塩釜市北浜町東北ドックＫＫが落札建造する事と決定したがその起工式が十一日塩釜市同社工場に於て水産庁、県水産課、県教委、地元有志など多数が列席して挙行される事になつた学校からは安達校長、齋藤誠吾ＰＴＡ会長が全校の喜びを代表して出臨する事になつた

同練習船は三月末迄に完成が予定されており、来春は青葉鰹と共に大平洋の波濤を蹴つて、海の健児らと共に快速處女航海に出ることゝなる



（寫眞は同練習船の完成模想図）

実習船の打合せ

安達校長上京

小名濱水産高校では実習船の造船について水産庁と漁船協會に打合わせのため安達水産學校長は七日上京して九日歸校の予定

巡回日程を變更

ナトコ映畫会

昨報、小名浜教育委員会は来る十三日より町内巡回ナトコ映画会の開催を企画しているがその日程會場が都合により次の様に改正された

▽十三日午後六時半より＝第三小学校講堂

▽十四日〃＝岡小名第一區浄延寺本堂

▽十五日〃＝古港漁協講堂

▽十六日〃＝第一小学校講堂

新法下に

草野會長ら新に申請

小名浜商工会議所

小名浜町商工会（會長草野庄平氏）では十月一日公布された新商工会議所法の制定に基づき商工会議所の設立申請を急いでいる

小名浜町商工会は先きに平商工会議所から小名浜泉、鹿島二町一村の地域分割承認を受けたので早速八月三十一日創立総会を開き申請書類を完備して県の同意書を添え通産省に対し申請手續きを済したが、八月國會で新商工会議所法が成立し、十月一日公布となつたため舊法によつて設立申請をした小名浜商工会議所の申請書は無効となり、新法による申請書を新らたに作製しなければならなくなり、再作製を急いでいるものである

新法によれば特定商工業者の過半数の同意書を必要とし、会員から一號議員、二號議員、三號議員、常議員を選出することになつているので、それらの諸問題を解決するため近く再び創立總会を開く模様である

頭初小名浜町では年度内設立を予想していたが新法の制定公布により、政府は舊法による既設商工會議所を新法による商工会議所に再組織することに重点をおき、新設は認めないという方針を明らかにしており、小名浜町商工會議所の創立は相當な困難が予想され、早くとも来春前には難かしい模様となつた

複雑な合併事務に

兩町村吏が研修会

鹿島合併の準備進む

小名浜町では鹿島合併が縣議會の承認を得て、内閣の官報による告示を待つばかりとなつているので、合併の町村事務處理引繼を円滑に行う爲八日午後二時から縣地方課白石課長、佐藤主事らを招き公民館に小名浜、鹿島両役場の關係各課長、吏員を集めて事務研修会を開いた

鹿島村は縣議會の調停附帶條件により、一旦全村小名浜町に合併したのち速やかに時機を得て旧鹿島村の上矢田、松久須根三澤の三部落を小名浜町から湯本町に編入する事になつている爲、學校關係、農業委員会關係などの分離が非常に複雑を極めており、それらの處理が困難な爲、地方課係員の指導助言を要請した模様である

印刷
御用命ハ
電219

小、中學合同運動会

＝磐崎村＝

秋晴れに惠まれた磐崎小中学校の合同運動會は六日磐崎中學校校庭で行われ、小、中學生徒千余名が木の香かおる新築校舍の前で、健康繪卷を繰り展ろげ近年にない賑かさで終了した

湯本公民館で造花講習

湯本公民館厚生部では主婦たちの生活經濟の確立に役立たせるため七、八の二日間に亘り造花の講習を行つた

滞納に日掛徴收

＝湯本町の「笑つて完納」企画が実を結ぶ＝

滞納者に対して「笑顔で完納」させようと一石二鳥を狙つた湯本町役場税務課では、滞納日掛徴收を行つていたがその結果が良好なので、税務課は勿論滞納者も非常によろこんでいる、この日掛徴收は毎日役場吏員が直接集金に行くことになつて居り、滞納者も金額が定められて居らずその都度拂込むもので、しらずしらずに税金が拂へると云ふことになり「この方法は縣下でも湯本町だけで他町村でもとれを行ふかと云ふ話が出ている」と税務課では自慢の一つとして鼻を高くしている

白百合幼稚園の運動會

お手々むすんで

小名浜町白百合幼稚園（園長ジオルジ・イ・ダビオ神父）は同母の会（會長鈴木みどり氏）と共に十一日午前九時から同園庭に於て第一回の園児運動会を行うことになつたなお雨天の際は十八日に延期される

植田公民館で文学講座

十四日から

植田町公民館では十四日から六日間、磐農高校長高橋猛氏を講師に文学講座を開講する事になつた会費は無料で毎夜午後六時から同館で開講される事になる

随想

酒政と議員精酒と僞飲の因果律

＝町長選擧を前に＝

梅野　隆

十月八日附磐城日日〃鹿島問題から學ぶもの〃の醉狂童子氏によると、合併問題に關する得体の知れぬ冗費が湯本、小名浜両町で数白万に達するという風評を取り上げて、酒食饗應に倚るに非らざれば現代政治家は仕事の出来ない腰抜け共揃いでよくもまあダラシないツラを臆面もなく曝らけ出して歩けるもンだ、とコキ下している

九月二十六日附同紙「今日の主張」の中でも梅野隆氏がとの問題の一部に觸れて、〃町民の血と汗を泥田に投ずるもの〃としていわゆる待合政治と政治屋共に猛省を促がし更に二十三日と二十五日附の磐城日日「随想」で風草三郎氏は「人間の弱さと政治」の中で如何に「個人の尊厳性」が不安と脅威のうちに蒼白く痩せつつあるかを指摘して大衆のみの犠牲による現代政治の在り方は、尠くとも人間本来の「生きる相（すがた）」でないように思われて如何ようにも納得が出来ない、と述懐している

かくて三者の論旨と感想を結び合せた頂点に、期せずして浮かび出たもの――この凝固体とそは人間の名において生きとし生きる庶民の「今日の政治と政治家に對する不信」の聲の凝体でなくて何であろう……？

よしんばそれが單なる偶然性によつて結合された類型的思潮であつたとしても、との相似性の根底には譬えば噴き出ずる泉のような一貫した人間の血潮が脉々と流れているように感ぜられるのはどういう譯であるのであろうか――

※　※

想念の飛躍を手操り戻して再び醉狂童子氏の名筆にまなこを注ぐと、湯本のつた本、小名浜の新よね両町の政治屋クラブ童子氏によれば〃密謀のアジト〃なる文字が浮んで来謀議と、懐柔と、虚構と、阿ユ追從の盃が或いは静かに袖の下から、或いは景氣よく食卓を飛び越して宵闇の夕顔のごとく、春風にのる胡蝶のごとく、或る時は雷鳴下の稲妻のごとく、多彩な明暗模様を織つて交わされる盃史だけが彼等が政治家として動いた總てではないか、と夥しい乱費の上にまで思いを及ぼすとき、爛れた笑いと自嘲の中で「余輩の行政手腕」の忘念を狂信している馬鹿者どもがよくもまあ揃つたものだと呆れ果ててしまう

敢えて西園寺の公望とお鯉さんを登場させるまでもなく、伊藤の博文とお幾さんを墓場から引ずり出す迄もなく、政治家と二号に出發する〃大日本政治學尊始〃は今日迄政治家の聖典として地方政界人までが脊々服膺するのみか待合、料亭まで経営せしめて政治力と私腹飽肥の具に活用する様は全くオドロキを通り越して敬服の念さえ湧いて来そうである

酒精と酒政、飲食と議員にどんな因果律があるのか知らないが、宴席に侍る政治家の中に只一人でも手にした酒盃に庶民のまごゝろを映す人間がいたら、慄然として迚も呑めない酒もあろうし、酒政浄化の旗をかかげ卒先庶民の先頭に立つて「政治を庶民の手に」と叫び或いは大衆と游離した自分の姿と行爲に空オソロシクなつてザンゲの行脚に丸坊主の誠を現わすだろうが、酒盃の反省どころか盃底のゴミまで呑み干したー、坊主議員や坊主理事者までが南無と稱える代りにカムとドラ聲を發して、醫者の袖や利權の觸手を引つ張る卑見さ性を發揮して、おまけにそれが役得なりと後生大事にしがみ着いている状態だからいよいよもつて始末が悪るい

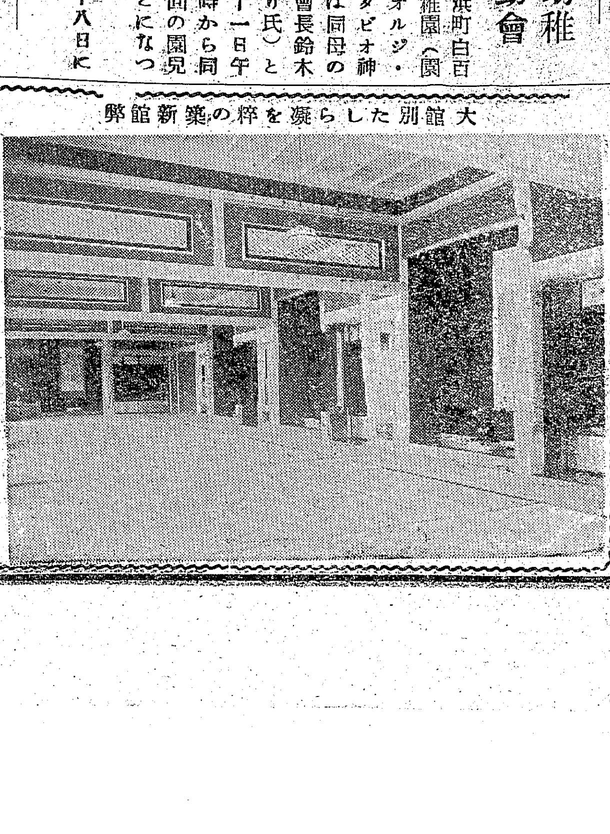
來るべき町長選と議員選擧にはとのような人々は只一人も出したくない、断じて出してはいけないと私は思う

文撰工（年令男女不問）
見習工　若干名
右募集す
長瀬印刷株式會社

外科　婦人科
産科　放射線科

黒澤醫院
小名浜第一小學校隣　電45番

弊館新築の粋を凝らした別館大



旅館
割烹
若葉館
小名浜町隼人水素驛前
電話三五〇番
◎御座敷女中募集（若千名）

内科
小児科
會田醫院
院長　會田　亮
小名浜町横町（電一四八）